

研究室訪問による個別営業

杉田茂樹 <sugita@lib.hokudai.ac.jp>
北海道大学附属図書館

HUSCAP : Hokkaido University collection of scholarly and academic papers.
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>
Copyright © 2005 Hokkaido University Library. All Rights Reserved.



平成18年5月16日

CSI報告交流会(北大)

2

DAEDALUS(グラスゴー大学)

- 部局研究委員会や学科委員会、図書館委員会などの様々な委員会でプレゼンテーション
- おおむね勇気付けられる反応
- (代理登録制でも)実際にリポジトリにコンテンツがデポジットされるということにはならなかった
- 教員たちの多くは、たとえ共感したとしても、**コンテンツを提供する時間も気もないことを、我々が思い知らされた最初の出来事であった**

HUSCAP : Hokkaido University collection of scholarly and academic papers.
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>
Copyright © 2005 Hokkaido University Library. All Rights Reserved.



研究室訪問による個別営業

- 説明・説得ではなくインタビュー
- 「5分10分で結構です」
 - 実際には、時間と話題の続く限り、快くつきあってもらえるケースが大半。最長2時間。
- 研究生活についての理解
 - 機関リポジトリ設立に限らず、図書館活動全体にとって非常に有益



きっかけは何でもいい

- 「私たち事務官はどうも論文査読のプロセスについて、今ひとつ掴めていないので助言を下さい」
- 「図書館委員会での先生の発言について、図書館としても悩みどころであるので、さらに詳しく助言を頂きたい」
- 「LANLのプレプリント・サーバについて教えてください」
- 「権利処理への懸念があるとのことですが、私たちの考えているやり方についてご意見を」
- 「IRシステムをお触りになってみていかがでしたか」



予備知識

- 雑誌危機
 - 自大学のEJ予算(と財源)
 - 契約タイトル数
 - 内外の状況、宮澤グラフ
- 海外情勢(英米議会、NIHプロポーザル等)
- インパクトファクター



成果

- 得られた助言の有形・無形の反映
 - リポジトリ運営方針へ
 - 説明会等での話題・力点の緩急へ
 - 説明資料へ
- 初期協力者(Early Adopters)の獲得
 - 北大: 図書館委員会学術成果発信小委員会



以下、参考

HUSCAP : Hokkaido University collection of scholarly and academic papers.
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>
Copyright © 2005 Hokkaido University Library. All Rights Reserved.



話題

- 著作権、SHERPA/RoMEO
 - ただし、著作権が誰にあるかは問題ではない
 - 再利用についての出版社との契約の問題
 - 投稿規程例を持参
 - 著作権というより版權というほうがイメージに近い
- 権利的に怪しい部品(巨大な引用、図表、写真)を含む資料(とくに教材)

HUSCAP : Hokkaido University collection of scholarly and academic papers.
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>
Copyright © 2005 Hokkaido University Library. All Rights Reserved.



話題

- 査読・編集プロセス(図を持参する)
 - 出版社ごとにどう違うか、ジャーナルごとにどう違うか、国内学会論文誌はどうか
 - どの時点から電子か、フォーマットは
 - 査読所要期間
- どんな雑誌に投稿する？
 - 選択の基準は？(IF?)
 - 内外比率、和欧比率



話題

- 出した論文の原稿は保存？
 - 保存状態は。
 - どのぐらい昔のものまであるか(電子的に)。
- 載るだけで嬉しいか。より読まれると嬉しいか。引用されてはじめて嬉しいか。
- 公開を控えたい、という需要
 - 載せない、アクセス制限、公開猶予、先取権、特許



話題

- 修士論文と学位論文との違い
- どんなものがIRに入ると重宝されると思うか
 - 一般市民に対して、研究者に対して
 - 灰色文献
 - 公開講座、予稿集、科研報告書、学位論文... ..



話題

- 抜き刷り交換
- 論文は誰のものか
 - 第一著者、最終著者、講座内の上下関係
 - IR登録について共著者への確認の必要度
- Googleに学術情報を期待するか
 - Google Scholarは？

